

令和七年度一般選抜独自方式Ⅱ期問題

国語

出題意図および解答例

一

【出題意図】

評論の構成・論理を正確かつ柔軟に捉え、各設問に対し明確に解答することができる思考力・判断力を有するかを問うている。

【解答例】

問一 a 含めた b こうむ(る) / こうぶ(る) c ただ(ちに) d 獲得 e 依然

問二 ア

問三 (空欄A) オ (空欄B) エ

問四 略

問五 4

問六 (ア) × (イ) × (ウ) × (エ) ○ (オ) ○

二

【出題意図】

評論の構成・論理を正確かつ柔軟に捉え、各設問に対し明確に解答することができる思考力・判断力を有するかを問う。

【解答例】

問一 a 原則 b まぬが(れた) c 水準 d 治癒 e 載らない

問二 ア

問三 エ

問四 (空欄B) イ (空欄D) ウ

問五 ウ

問六 ウ

問七 イ

①

令和七年度 入学試験問題（Ⅱ期）**国語**

時間 六十分

配点 一〇〇点

受験番号

氏名

一 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

②
国語(Ⅱ期)
受験番号
氏名

--

(河野哲也「境界の現象学 始原の海から流体の存在論へ」筑摩書房、二〇一四年、六八〜七二頁、出題の都合上、文章の一部を改変した。)

問一 二重傍線部 a～e の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

a
めた
b
る
c
ちに
d
e

問二 傍線部①「兆候」の意味として適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 物事の起こる前触れ。
- イ 不吉な知らせ。
- ウ 病気や怪我などのために現れる異常。
- エ それとなく手がかりを伝えること。

--

問三 空欄 A・B に入る接続詞として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア しかし
- イ ところで
- ウ なぜなら
- エ したがって
- オ たとえば

空欄 A
空欄 B

③	国語(Ⅱ期)	受験番号							氏名
---	--------	------	--	--	--	--	--	--	----

問四 傍線部②「主治医の真摯で共感的な患者への関わり」とは具体的にはどのようなことでしょうか。本文中から六〇字以内で抜き出し、「〜こと」と続くように答えなさい。

問五 次の一文は本文から抜き出したものです。【1】〜【4】のどこにあったと考えられるか、一つ選んで数字で答えなさい。

言い換えるならば、以前の身体図式が更新されない場合に、感覚が誤って以前の状態に位置づけられたままになってしまうのである。

問六 次の説明文を読み、本文の内容と合致するものには○、合致しないものには×で答えなさい。

- ア 熊谷の慢性痛は、脳性マヒの二次障害ではなく、医療に対する不信感と不満足から生じたものであったため、信頼できる医師との出会いによって消失した。
- イ 慢性痛は過去の自分についての記憶と深く関わっており、薬や手術では取り除くことができないため、自らの力で世界との関わり方を改めない限りは克服することはない。
- ウ 身体図式とは、全身の感覚と運動の地図のようなものであり、その機能は工学者たちの苦勞によってロボットにも用いられるようになった。
- エ 幻肢は、手足を失った状態に適応できず、傷ついた身体に合わせた新しい身体図式が形成されないことで発生する。
- オ 慢性痛も幻肢も身体図式の機能不全に起因するものであり、どちらも心理的な問題との関わりが指摘されている。

ア
イ
ウ
エ
オ

二 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

④

国語(Ⅱ期)

受験番号

氏名

--

(工藤和男「いのちとすまいの倫理学」晃洋書房、二〇〇四年、九九～一一一頁、出題の都合上、文章の一部を改変した。)

問一 二重傍線部 a～e の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

a		b		c	れた	d		e		らない
---	--	---	--	---	----	---	--	---	--	-----

問二 空欄 A に入る文として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 病いと主に戦うのは医療だという幻想を抱かされてしまったように思う
- イ 人間のいのちが自然と共にあることを忘れてしまったように思う
- ウ 医学の力を無条件に崇拝し、医学に疑いを持つことをやめてしまったように思う
- エ 医学の発展の裏には犠牲の歴史があることを忘れてしまったように思う

--

⑤	国語(Ⅱ期)	受験番号						氏名	
---	--------	------	--	--	--	--	--	----	--

問三 傍線部①「わらにもすがる」の意味として適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 追い詰められた者が、正常な判断ができなくなる事。
- イ 事態が行き詰まって身動きがとれなくなると、身近なものに頼らざるを得ない事。
- ウ 活路が見出せない状況にある者が、あらゆるものに救いを求めてしまう事。
- エ 窮地に陥った時、何の頼りにもならないものでも頼りにしてしまう事。

問四 空欄B・Dに入る接続詞として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア すなわち
- イ そして
- ウ ところが
- エ つまり
- オ あるいは

空欄B	
空欄D	

問五 空欄Cに入る最も適当な言葉を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 実現
- イ 実践
- ウ 実態
- エ 実証

問六 傍線部②「高度医療によって促進された単純化」とはどのようなことでしょうか。その説明として最も適当なものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 医療の発展によって、病気にかかり治る過程が説明され、容易に理解できるようになったこと。
- イ 医療の発展によって、かつては複雑なものとして捉えられていた病気にかかり治るまでの過程が、実は単純なものであったと説明されたこと。
- ウ 医療の発展によって、病気にかかり治るといふ複雑な過程を単純化して理解したいという心理が強まること。
- エ 医療の発展によって、多くの病気の予防法や治療法が確立されたことで、医療の力を過信するようになること。

問七 傍線部③「その傾向」の説明として最も適当なものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 医療が万能視され、専門家以外の人々が医療に対して過剰な期待や夢を抱いてしまう傾向。
- イ 医療が提供する情報が人々の不安をかき立て、不安を解消するために必要以上に医療が求められる傾向。
- ウ 現代医療が手っ取り早く病原をたたくことばかりを重視し、いのちの力を強めることをなおざりにしてしまう傾向。
- エ 現代社会において民間の健康食品や疑似薬品、似非宗教などと医療の境界が曖昧となり、同列に扱われる傾向。

